

日時 令和5年12月1日(金)

9:20~11:30

会場 本校 大会議室

参加者(委員10名、事務局5名、分掌長など4名)合計19名

1. 学校長挨拶

- ・全日制、定時制の行事や生徒の活躍について
- ・全日制の学校の取組(1年探究基礎の授業等)について

2. 授業参観(第2時間目 9:40~10:25)

授業 第1学年 「探究基礎」
1年3組 1年4組 1年9組

授業内容 「探究基礎」
<参観授業> ・本時 ディベート 初級編
「学校で部活動をするのは、高校生にとって必要なことか」
についてのディベート

3. 意見交換

○ 授業「探究基礎」について

- ・本物のディベートを見せてあげてほしい。大学のディベート部と交流を持つことも効果がある。
- ・ディベートの初級として見させて頂いて、これから何回も繰り返しながら、自分の意見だけを主張するのではなく、相手の意見を踏まえて、相手を説得させる練習もしてもらいたい。
- ・このディベートを通して、自分の意見とは反対の肯定・否定を経験することにより、論理的思考を養ってもらいたい。
- ・皆が、真剣に取り組んでいるが、話す生徒に限られているグループもあったので、これから経験を積んで、全員が話せるようになってもらいたい。
- ・白熱して論点がずれないように、テーマの設定にもう少し工夫をしてはどうか。抽象的なテーマから具体的なテーマへ変えていくなど。
- ・小グループに分かれていたので、できるだけ意見を言い合える雰囲気ができている。
- ・細かいルール(発言する順番、司会者など)を決めなくても、自分たちで良い雰囲気をつくり自由に楽しんでいる様子であった。
- ・ディベートの様子をビデオなどで録画することにより、後で振り返り、全体像を探るのもよい。細かい所まで、チェックができる方が次に生かせると思う。
- ・根拠として様々な資料を示していたので説得力があった。
- ・「人が話しているときは、その人を見て聞く。」というルールがあってもよいと思った。

4. 報告事項

① 全日制 第2学年より（研修旅行について）

- ・10/17～20の3泊4日の九州への研修旅行であり、各クラスの研修旅行委員中心にクラス独自の研修内容と行程を考えた。
- ・クラス独自の研修以外に、長崎などでの平和学習や留学で来日している大学生と英語でコミュニケーションをとりながら、現地の文化、歴史などを学ぶ機会ももった。
- ・事前研修と事後研修を充実させ、特に事後研修においては、クラス代表者が発表し、貴重な体験を学年全体で共有した。

② 第1学期授業アンケートについて（全日制・定時制）

<全日制>

- ・どの教科の授業においても、肯定的に捉えている生徒が多い。
- ・否定的な内容のアンケート結果については担当教員に示し、授業改善への1つの意見と捉え、よりわかりやすく、楽しく、生徒自ら積極的に頑張ることのできる授業へと繋げてもらうようにしている。
- ・現在、1・2年生の授業では、電子黒板と普通黒板を工夫しながら併用している。

<定時制>

- ・1年生から4年生まで全校生徒26名という小規模な体制なので、授業も少人数で行うことができ、職員も根気強く丁寧に生徒に接しているため授業の満足度は高い。
- ・電子黒板を使い、授業を行っている。特に、1・2年生は生徒の端末から個々の意見を吸い上げ、皆で考えていく授業等は非常に楽しそうな様子である。

5. 事務局より連絡

- ① 全日制第2学年 探究成果発表会 2月9日（金）に実施予定
- ② 第3回学校運営協議会について
2月下旬～3月上旬に実施予定
今年度の学校評価（総括）について
- ③ 「畝高イルミネーション2023」
12月18日（月）～22日（金）16：30～18：00まで
本校校舎前玄関や、文化創造館前をLEDイルミネーションで装飾する。
是非ご参加を！